



愛知陸協広報

第56号

令和4年7月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号 ハレラニ千代田ビル301

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

～Withコロナ社会で迎える新年度のスタート～

会長 稲垣 隆司

一般財団法人愛知陸上競技協会の会員の皆様方には日頃から当協会の運営に多大なるご支援・ご協力を頂いておりますことに対し、心より厚く御礼申し上げます。また、県内各地区で開催されます各種陸上競技大会の運営や、公正かつ厳正な審判、さらには選手の育成・強化・指導等に多大なご尽力を頂いておりますことに対して、併せて心より感謝と敬意を表する次第であります。

さて、一昨年度、昨年度と2年間以上にわたり新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大変深刻な状況であったことから、会員の皆様方はもとより選手をはじめ大会関係者の方々の安全を確保するため、愛知陸上競技選手権大会や名古屋ウィメンズマラソン等全国規模の大会を除き、多くの大会を中止するなど大変残念な状況が続いておりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が若干減少傾向にあることや、重症化リスクが低いことなどから、検温やアルコール消毒など感染防止対策を徹底したうえで、6月には大阪で第106回日本陸上競技選手権大会が開催されました。愛知県においても5月にはスポーレ春日井で第1回スプリントゲームズ春日井大会が開催されたのをはじめ、県内各地区で各種競技大会等が開催されております。さらに、7月には愛知陸上競技選手権大会が開催されました。今後は、誰一人感染者を出すことなく、すべての大会等が順調に開催されることを大いに期待しております。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の感染が完全に収束するまでには時間を要すると思いますが、「感染防止と持続可能な社会経済活動を両立する」Withコロナ社会、Afterコロナ社会を、会員の皆様方と力を合わせ、陸上競技の素晴らしさをPRしながら、お子様からお年寄りまですべての県民の皆様方が、健康で心豊かな人生を送れるよう努力してまいりたいと存じます。

会員の皆様方には、くれぐれもご自愛いただき、愛知の陸上界の発展のために一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

田中選手・山西選手・西山選手らが世界選手権に出場

7月にアメリカ(オレゴン)で開催される世界選手権に、6月の日本選手権で1次代表選手として発表された田中希実選手(豊田自動織機)や山西利和選手(愛知製鋼)、すでに選抜されていたマラソンの西山雄介選手(トヨタ自動車)、さらに7月に選出された山本聖途選手(トヨタ自動車)、山口浩勢選手(愛三工業)、川端魁人選手(中京大クラブ)の愛知登録選手6名が出場します。皆さんの活躍を祈念します。(写真は陸連HP等より)



田中選手



山西選手



西山選手

専門委員会報告

総務委員会

4月16、17日の「国体選手選考春季選抜競技会」を皮切りに県陸協主催の大会が始まりました。今年は、新たに「第1回春日井スプリントゲームズ in Aichi」が設けられ、5月14日に開催されました。

こうした大会等を開催するにあたり、当委員会では各委員会に属さない事項への対応や連絡調整を行ない、各大会がスムーズに運営されるよう活動してまいります。

また大会だけでなく、表彰（褒賞・栄章等）、年鑑作成、登録（競技者・審判）とその集約や整理等、諸々の業務を年間を通して担ってまいります。

（水野 隆夫）

競技委員会

2022年度はコロナウイルス感染が終息を迎えると思っておりましたが、ここに来て新たな変異株や、感染が広がっています。競技会も感染対策を取りながら、入場者を監督、コーチ、マネージャー、保護者までとしてきました。今後も対策を取りながらの競技会になりますが、ご理解ご協力をお願いします。

これからの競技会も、秋のトラック&フィールド、さらに愛知駅伝、読売犬山ハーフマラソン、名古屋ウィメンズマラソン、穂の国豊橋ハーフマラソンなどのロードレースへと進んでいきますが、無事開催されることを願っています。今後も多くの審判員の方の協力を得て、無事2022年度の競技会を終えたいと思います。

2026年のアジア大会を前に、スムーズな競技運営を目指した競技会のあり方を皆さんと考えていきたいと思えます。前向きなご意見を頂きたいと思えます。競技運営や準備などへのご協力をよろしくお願いします。

（榊原 茂）

施設・用器具委員会

2022年度シーズンを迎えるにあたって

検定員1年目の昨年度は、皆様方のご指導ご協力のおかげを持ちまして、業務を成し遂げることができ、ありがとうございました。当委員会全体の活動も含めて、今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

1. 昨年度までに検定を終えた競技場について

① 豊田市運動公園陸上競技場（3種に降格） [2/11]

前日の降雪により、芝生内にまだ雪が残る中、2種から3種に種別を変更しての検定となりました。当日は朝から好天に恵まれ、昼過ぎには雪も溶けたので予定どおり計測等が進み、日没前には全て終えました。2027年3月31日まで公認。

種別は変わりましたが、施設自体は2種相当で整備していただきました。ただし、3種変更に伴い、競技場コードが223180に変更となっております。

② 豊川市陸上競技場（3種継続） [2/19]

この日は、午後から降雨予想でしたので、時間を早めて実施しました。事前に図面指導で何度も協議を重ねたこともあり、スムーズに調査・計測等は進んで、雨が降り始めた15時過ぎには書類作成のみの状態にすることができました。2027年3月31日まで公認延長。

③ 物産フードサイエンス1969知多スタジアム（2種継続） [3/20・21]

陸連から山口検定員をお迎えしての検定となりました。知多市の多大なるご理解とご協力もあって、県内で唯一公認2種競技場として維持していただきました。2027年3月31日まで公認延長。

今回Aゾーンの全天候舗装が全面改修され、写真判定装置と棒高跳の支柱も更新されました。



トラックの計測（山口検定員）



投てき器具検定（南技術役員）

[写真提供：知多市体育協会（鈴木康雄氏撮影）]

④ 中京大学梅村陸上競技場（3種継続） [3/27]

2021年度最後の検定は、朝から天気も良く気温が30℃近くまで上がってきたこともあり計測値が合わず、熱中症に気を配りながら、トラックの距離測定を数回やり直すこともありましたが、17時過ぎには全て終わりました。2026年9月30日まで公認延長。

今回の改修工事で、県内では珍しいトラックの内側にあった3000m障害の水濠施設が撤去されました。また跳躍施設の増強が図られ、ラインマーキングをWA仕様にするなどの変更を行なっています。

⑤ 半田運動公園陸上競技場（3種一部改修） [4/10]

2022年度の内容になりますが、全天候舗装に一部問題のあった箇所を補修したことによるもので、急遽実施しました。この検定による公認期間等の変更はありません。

2. 今年度予定している検定について

① 蒲郡市公園グラウンド陸上競技場（4種L継続検定）

クラブ紹介⑤ 刈谷AC (アスリートクラブ)

刈谷アスリートクラブは2010年4月に小学生対象陸上クラブとして刈谷市で活動を始めました。発足のきっかけは、市内に子ども達の陸上クラブがなかったため、陸上に興味がある子どもたちの居場所づくりとして刈谷市陸上競技連盟が立ち上げました。当初は刈谷市内の小学4～6年生40名を対象に、主に土日で活動をしていました。しかし市内小学校の陸上部の廃止や中学校の部活動減少に伴い、クラブの対象を市外の方も含めて小1～中学3年生までに拡大し、活動日も平日と土日でクラスを分け、陸上競技の普及



ウェーブスタジアム刈谷での練習

に取り組んでいます。現在は約250名のクラブ員が切磋琢磨して練習に励んでいます。練習では「楽しい陸上」を指導理念としています。苦しいだけの練習ではなく、遊びやゲームを通して、仲間と協力・競争しながら、陸上競技の基礎や技術の習得を図っています。また、指導者として中学、高校、大学と次のステージで活躍してほしいと願っており、小中学生段階での無理のない練習量としています。

現在、チームスポンサーとしてファイテン、明治安田生命様に支援を頂いており、またメディカルサポートとしておすすが整形外科様に子どもたちのケアをお願いしています。子どもたちや保護者の経済的、身体的な負担を軽減し、良い環境づくりができるよう、今後もクラブ運営に力を入れていきます。



今年8月全国出場の「安藤心美」さん

(藤城 豊)

連絡先メールアドレス

yutaka.fujishiro@gmail.com

刈谷ACホームページ

<https://sites.google.com/view/kariya-rikuren>

- ② 穂の国・豊橋ハーフマラソンコース (ハーフ継続検定)
- ③ 至学館大学陸上競技場 (4種L継続検定)
- ④ パロマ瑞穂北陸上競技場 (3種継続検定)

3. その他の決定事項

- ① 名称変更
(旧名称) 岡崎龍北総合運動場陸上競技場
→ (新名称) マルヤス岡崎龍北スタジアム
- ② 公認廃止
白谷海浜公園 (4種) 陸上競技場 [2022/3/31付]
(平川 貴之)

審判委員会

審判技術の研鑽をお願いします

2026年の4月に瑞穂運動公園陸上競技場が改築されるまでは、愛知において全国規模の大会は実施されないと思われれます。この期間に進歩していく審判技術の普及に遅れをとってはいけません。アジア大会の審判編成がどのような基準で作られるのかはまだはっきりしていませんが、アジア大会だけではなく、その後も全国規模の大会や国際大会は愛知で確実に開催されていくと思われれます。ですから、より多くの審判員の方々が関わることとなりますので、審判技術の研鑽に力を入れていただきたいと思えます。

1 正確な判定

SISシステム (不正スタート判定装置)、写真判定

システム、光波距離測定装置、走幅跳・三段跳におけるビデオ判定装置等々の取り扱いに習熟し、作動確認を怠らず、セッティングや収納、雨天時対策までしっかりカバーしておきたいです。また、まだまだ目視による判定の場面はたくさんあります。どの審判員においても基本となる立ち位置があり、監察員にはフォーメーションがあります。正しい判定になるよう情報交換を積極的にしてください。

2 オンタイムの競技進行

テレビ中継が入り、オンタイムの競技進行は絶対条件です。オリンピックではサブトラックから招集所までが遠いので、途中でギャザリングポイント (第一招集所) を設け選手の移動の時間管理を徹底していました。競技終了後もメダルセレモニーがあります。報道関係者の取材をコントロールしながらも、タイムテーブルどおりに進行させていました。すなわち、適切なタイムテーブル作成が前提にあり、ウォーミングアップ場係、競技者係、出発係らが時間管理を意識して対応することになります。新競技場ができてからリハーサルなどでこうしたことに慣れていくことが大切です。

3 英語をはじめとする外国語でのコミュニケーション

アジア大会であれば、選手やコーチ、関係者と直接会話が必要な部署では、やはり英語をはじめとするコミュニケーションがとれることが重要になります。また、ITO という WA 派遣の審判長からの指示を英語で伝えてくるので、理解できる必要があります。

最近感じていることを書き連ねましたが、求められる審

判技術は上記の1～3が主だったものです。そして、多くの審判員を組織的に取りまとめる必要があり、うまくできれば大会の成功につながるものと信じています。審判委員会は今後の陸上界の発展に向けてリーダーシップを発揮していきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

(伊藤 明久)

選手強化委員会

2022年度 選手強化委員会 各種行事

新型コロナの影響から、ほとんどの行事が中止となってしまった2年間でしたが、本年度は感染対策を多方面から考え、できるだけ多くの行事を実施できるよう頑張りたいと思っております。選手強化委員会関係者一同、心機一転頑張っております。本年度選手強化委員会の行事は下記のとおりです。本年度も多くの場面でご迷惑をおかけいたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

【派遣事業】

行事名	期間	派遣日程	場所	責任者	幹事
国民体育大会	10月6日(木)～10日(月・祝)	10月4日(火)～10日(月・祝)	6泊7日 栃木県	明星	門脇
日本陸上競技選手権・リレー競技リレーフェスティバル	10月1日(土)～2日(日)	9月29日(木)～10月2日(日)	3泊4日 国立	谷口	
都道府県女子駅伝	1月15日(日)	1月12日(木)～15日(日)	3泊4日 京都府	松田	坂井
都道府県男子駅伝	1月22日(日)	1月20日(金)～23日(月)	3泊4日 広島県	服部	矢野

【競技会】

競技会名	期日	場所
国体選考春季選抜競技会	4月16日(土)・17日(日)	瑞穂北
国体選手選考少年の部	7月2日(土)・3日(日)	瑞穂北
駅伝強化豊川長距離競技会	9月19日(月・祝)	豊川
第1回駅伝強化長距離競技会	10月8日(土)	瑞穂北
第2回駅伝強化長距離競技会	11月12日(土)	知多
投擲競技会	10月8日(土)	瑞穂北
競歩競技会	2月25日(土)	知多

【強化行事・合宿・練習会】

行事名	期間	場所	責任者	幹事	備考
国体選手合宿	8月22日(月)～23日(火)	1泊2日 一宮	明星	占部	ミーティング採寸中心
国体選手練習会①	9月19日(月・祝)	1日 一宮	明星	占部	
国体選手練習会②	9月25日(日)	1日 岡崎龍北	明星	占部	
駅伝夏合宿	8月25日(木)～27日(土)	2泊3日 富士見	服部	清水	
都道府県駅伝合宿①	12月26日(月)～28日(水)	2泊3日 豊川	服部	矢野	
都道府県駅伝合宿②	1月4日(水)～5日(木)	1泊2日 名城大学	服部	矢野	

国体強化指定選手練習会①	12月17日(土)～18日(日)	1泊2日	知多	北浦	木原	投擲
〃 ②	12月24日(土)～26日(月)	2泊3日	岡崎龍北	明星	占部	短・中・跳・障・歩
〃 ③	12月26日(月)～28日(水)	2泊3日	豊川	服部	矢野	長距離・駅伝
〃 ④	1月7日(土)	1日	知多	北浦	木原	投擲
〃 ⑤	1月14日(土)	1日	知多	明星	占部	短・中・跳・障・歩
〃 ⑥	1月21日(土)	1日	知多	北浦	木原	投擲
〃 ⑦	2月4日(土)	1日	知多	北浦	木原	投擲
〃 ⑧	2月12日(日)	1日	知多	明星	占部	短・中・跳・障・歩
〃 ⑨	2月18日(土)	1日	知多	北浦	木原	投擲
〃 ⑩	3月5日(日)	1日	知多	明星	占部	短・中・跳・障・歩
ジュニア部練習会①	1月15日(日)	1日	豊川	谷口	長谷川	
〃 ②	未定	1日	未定	谷口	長谷川	ジュニア部中学生のみ
〃 ③	未定	1日	未定	谷口	長谷川	ジュニア部中学生のみ
〃 ④	未定	1日	未定	谷口	大矢	ジュニア部小学生のみ
〃 ⑤	未定	1日	未定	谷口	大矢	ジュニア部小学生のみ
全国小学生陸上	8月20日(土)	1泊2日	横浜(神奈川)	八代	大矢	全国大会の引率指導
全日中参加者練習会	未定	1日	瑞穂			
国体選手リレー練習会	9月中旬	2回	瑞穂北等	後藤	小林	国体選手のリレー練習
ジュニアオリンピック練習会	9月下旬から4回程度	4回程度	知多等	谷口	長谷川	JO選手のリレー練習
競歩教室	各月1回開催	9回	刈谷市総合運動公園内	斉藤	斉藤	12・1・2月は除く

【指導者養成】

事業名	概要
JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会	2022年12月10日(土)・11日(日):中京大学
JAAF公認スタートコーチ養成講習会	2023年2月18日(土):日本福祉大学
日本スポーツ協会公認コーチ派遣	加藤 友樹(愛知県立春日井西高等学校)
医事部トレーナー研修会	8月下旬 3泊4日 日間賀島 *検討中

【会議関係】

回数	選手強化委員会	駅伝部強化委員会	ジュニア強化委員会	幹事会
第1回	4月17日(日)	7月上旬	未定	未定
第2回	7月17日(日)	11月上旬		
第3回	8月上旬	2月上旬		
第4回	11月下旬			
第5回	3月上旬			

(明星 光信)

記録・情報処理委員会

年度当初は競技会が重なり、競技会開催にあたっての資格審査や運営用のデータ作成、ならびにプログラム作成、そして競技会後は、リザルト・申請データ作成など、多くの業務をお願いしており、ご苦労をおかけしておりますが、ご協力に感謝しております。

今年度に入ってから、データ申請時にエラーが多く発生しております。原因として、使用していない項目に「シード」などの記録と関連のないデータが入っていたり、競技者の属性に、中学なのに高校や一般といったデータが入ったりしており、不整合が起きています。件数も多く、エラーの修正に時間がかかり、1件の申請手続きに数時間かかることもあります。データを送る前に、今一度、選手の属性や関係のないデータが入っていないかを確認していただくとありがたいです。

2022年1月1日から6月26日まで、日本陸連のデータベースで確認できた県新記録

一般男子

300m

32.56 川端 魁人 (中京大クラブ)

[日本グランプリシリーズ出雲 (島根県立浜山公園) 2022/4/24]

30kmW

2.06.34 丸尾 知司 (愛知製鋼)

[日本陸上競技選手権 (輪島) 2022/4/16]

一般女子

800m

2.03.10 田中 希実 (豊田自動織機)

[静岡国際陸上 (エコパ) 2022/5/3]

1500m

4.07.43 田中 希実 (豊田自動織機)

[プレフォンテインクラシック (オレゴン州ユージーン) 2022/5/27]

4.11.95 後藤 夢 (豊田自動織機)

[SeikoGoldenGrandPrixTOKYO2022 (国立競技場) 2022/5/8]

5000m

15.05.61 田中 希実 (豊田自動織機)

[日本陸上競技選手権 (長居) 2022/6/12]

100mH (83.8cm_8.5m)

13.32(+2.0) 大松 由季 (愛教大クラブ名古屋)

[布勢スプリント 2022 (鳥取県立布勢) 2022/6/26]

一般外国人女子

1500m

4.06.36(タイ記録) L・H・エカラレ (豊田自動織機)

[THE MIDDLE (駒沢) 2022/3/29]

高校女子

やり投 (600g)

55.25 辻 萌々子 (名古屋大谷高)

[九州共立大学チャレンジ (九州共立大学) 2022/3/20]

(石鎚 一則)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

瑞穂本陸上競技場の改築が始まり、北陸上競技場は従来本陸で実施していた大会の多くを引き継ぎ2年目となります。その北陸は、これまで記録発表もアナウンスのみでしたが、3月に大型映像装置が改修され、新たに本陸同様に動画映像配信もできるようになりました。また競技運営もNANS21Vシステム、有線・無線インカム、ビデオ監察カメラなども整備されています。

名古屋地区陸協はこの機会に、北陸開催の競技会では使用可能な機材・備品をできる限り使用して競技会を運営することに努めています。そのためには各競技役員が機材と備品の取り扱いに習熟し、記録情報関係との情報の共有化による連携が必要となります。そうして、競技者や観衆に素早く情報発信できるよう整備し実施することを目指しています。更にこのことが、新陸上競技場の完成する2026年4月に、新しい競技運営システムに環境と状況が変化・更新されても、早期に対応できる審判役員養成につながると願っています。

ご承知のように現在の北陸は、名古屋地区はもちろん、今後も県大会やそれ以上の大会開催が予定されると思います。県内の役員の方々にも、是非このことを意識し競技運営にご協力いただくをお願いいたします。



改修された大型映像装置(瑞穂北陸上競技場)

(水野 久)

尾張陸上競技協会

尾張陸協は今年度、理事2名を変更した新たな役員体制でスタートしました。

今シーズンもコロナ禍の競技会が続く中、細心の注意を払いながら運営に当たっています。5月の日本陸連コロナ対策指針変更を受けて、地区の感染状況を踏まえ対応していきます。

6月7日に県営一宮総合運動場公認更新事前指導がありました。県スポーツ局立会いの下、細かい点まで指摘していただきました。尾張陸上競技協会の要望が、県スポーツ局から財務関係にうまくたどり着けることを期待しています。

日本選手権では、今年も当地区出身の競技者が活躍してくれました。男子ハンマー投の墨 訓熙選手(起工高→中

学校訪問④⑥

田原市立田原中学校

昨年度県中総体男子の部総合優勝

今回は、昨年度の県中総体男子の部で総合優勝を果たした田原市立田原中学校です。田原中は、今年の3月に大阪で行なわれた室内陸上のU16の部の60mで巻口周平選手が5位入賞(7"19 予選7"13)を果たしてもいます。巻口選手は今シーズンの100mで11"04と6月最終土曜日の訪問時点で、全国ランキングでも上位に位置しています。こうした活躍を見せる田原中の強さの秘訣を取材の中からいくつか報告します。

強さの秘訣を報告する前に伝えておかなければならないことがあります。それは、週の練習日についてです。顧問の市川佑平先生からお聞きしたのですが、ウィークデーは火、水、金の3日、土日は月4回の土曜日のうち2日のみ。市川先生は、県全体のことは分かりませんがこれが東三河一律の姿だとおっしゃっていました。県立高校でのウィークデーに1日休みを設けること、土日は0.5日の活動にとどめることよりも活動日が少ないのです。これでよく力が付くものですねと申し上げると、市川先生は、練習のない日には家の周辺で練習したり、活動日ではない土曜日に白谷の陸上競技場に出かけている部員もいるようですとおっしゃいました。強くなるには主体性が必要なのですと申し上げると、市川先生も、強くなった選手は他の部員にはない努力をした者たちですとおっしゃいました。これも強さの秘訣だと数えるなら、一つ目ということになります。

二つ目は、部員の数です。訪問日の練習も学校からそれほど遠くない位置にある白谷海浜公園陸上競技場で行なわれたのですが、競技場のスタンドに集まっていた部員の数に最初驚かされました。100人を優に超えていたからです。実際には田原中と田原東部中の2校の部員が集まっていたのですが、それでももう一人の顧問の近並 賢先生にお伺いしてみると、3学年合わせて80人を超す部員がいるのだそうです。近並先生は、クラブチームの練習に参加している部員がいて今日は全員がそろっているわけではないですが、学校での練習では全員がそろおうと大変ですとおっしゃっていました。数は力だと言われますが、訪問日の田原中の活動は活気に満ちていました。



グラウンドに挨拶

三つ目は、地域の力です。訪問当日は競技場に200人近くでしょうか、数多くのちびっこ子どもたちも集まっています。田原陸上クラブの子どもたちです。代表の方にお聞きしてみると、この日は瑞穂の北陸で小学生の大会が開かれていて高学年の児童がそちらに出向いているので全員参加の形ではないのですが、1年生から6年生までで250人を超す子どもたちが登録しているのだそうです。なぜこのことを取り上げたかと言いますと、市川先生が田原陸上クラブの活動経験者の何人かが田原中の陸上部に入部してくるとおっしゃっていたからです。もちろん中学校に入学してから陸上競技に取り組む生徒も多いのですが、ゼロからのスタートではない部員が少なからず存在していることは入学してから陸上競技に取り組む生徒に好影響を与えているのではないかと思います。また、顧問の先生方の部の運営にも貢献しているのかもしれないと思いました。

四つ目には、「地の利」を挙げておきましょう。白谷海浜公園陸上競技場の北側は海で、競技場のほど近い所に砂浜があります。250mほどの砂浜が2カ所続いているのです。近並先生によると、昨年からの冬場に砂浜ダッシュや往復走を取り入れたのだそうです。その結果、春先に多くの部員が軒並み記録を伸ばしたとのことでした。砂浜ばかりではありません。学校の裏手には蔵王山が横たわっているのですが、そこに伸びる坂道も部員たちの記録の向上に大いに役立ったとお話でした。こちらは自分の目で確かめることができなかつたのですが、それなりの勾配と距離のあるコースなのでしょう。ここでの坂ダッシュも部員たちの記録の向上に結び付いたというのですから。練習終わりのミーティングで「地の利を生かして頑張ってください」と話すと、部員たちは深くうなずいていました。

最後にどうしても挙げておかなければならないのは、顧問のお二人の存在です。練習の始まりはジョギング→柔軟体操→ハードルドリル→流しと全てのパートが合同で行なっていましたが、お二人ともハードルドリルに参加してお



生徒と走る近並先生

られました。私のような高齢の顧問がよたよたと練習に参加しても、「先生頑張ってください」と声を掛けてくれる部員がいます。若いお二人が部員と共に活動なさっているのは、部員たちにとってさぞかし刺激になっていることでしょう。続いて短距離パートと中長距離パートに分かれたのですが、中長距離パート担当の近並先生は、愛知県の中学生の強化練習会のメニューを参考にした(200m-400m-200m)×3セットのインターバルトレーニングを全て走り切られました。これには驚かされました。近並先生は、本当は1000m×3セットをやりたいのですが、コロナ禍で体力を向上させて来られなかった部員たちの現状に合わせた形にしていますとおっしゃっていました。生徒の状態に合わせることは短距離パート担当の市川先生も同様で、部員の力に合わせて個々に練習内容を調整しておられるのだそうです。近並先生からお伺いしたのですが、市川先生はかつて全日中の800mで優勝した選手だったそうです。その経験は、日々の指導の中で生かされているのでしょうか。このお二人の指導を受ける部員たちは幸せ者だなと思いました。当然のことですが、今まで訪問した多くの中学校と同様に、田原中でも顧問の先生と部員たちとの距離が近いことを感じました。この距離の近さも、高いパフォーマンスを生み出している要因に違いありません。



生徒に寄り添う市川先生

活気に満ちた練習と熱い顧問お二人の指導で、田原中は今シーズンも高いパフォーマンスを示してくれることでしょう。その場である通信の愛知県大会、県中総体が近づいてきたなと思いながら、私は競技場を後にしました。

(取材・文責・写真 大西 敏功)

京大→小林クリエイト)が5位、男子やり投の坂本達哉選手(一宮南高→大阪体育大→T-LABO)が8位、女子円盤投の川口紅音選手(津島高→日本体育大→第一学院高教)が4位でした。

この時点での全国大会出場者は以下のとおりです。

全国高等学校総合体育大会

- 男子 800m 樋口 諒 (一宮)
- 男子走高跳 江川 征那 (西春)
- 男子三段跳 横井 大智 (一宮)

(青山 充資)

水文雄様からトランシーバー5台をご寄付いただきました。ありがとうございました。



(櫻井 一美)

西三河陸上競技協会

グラウンド改修工事が終了し、新たな3種競技場に生まれ変わった豊田市運動公園陸上競技場で、4月2日と3日に開催された「第1回西三河陸上競技記録会兼国体選手選考競技会」を皮切りに、今年度の競技会がスタートしました。

昨年度末に大きな問題として浮かび上がったのは、東京オリンピックを観戦して感じた昨今のスポーツの多様化の問題です。それに伴い、陸上競技場を利用する競技団体も多岐にわたり、使用する日数も増加しています。今年度の競技計画を立てる際の競技場確保には、大変苦勞しました。競技場が確保できなかった影響で、2日間にわたって開催される「高校新人陸上」は、1日目と2日目の会場が違うといった形での開催となってしまいました。来年度に向けて、早めの対策が必要であると考えています。

また、新型コロナウイルス感染症への対応については、日本陸連や愛知県等の情報をもとに安全で安心な大会の実施をいたします。小中高生にとって、仲間と励ましあったり上級生の競技から多くのことを学んだり、お互いに切磋琢磨する機会を設けたりすることはとても重要であると考えています。それとともに、仲間を思いやる豊かな心の育成の場を早く取り戻せるように取り組んでまいります。

振り返ってみますと、この新型コロナウイルス感染症により補助員の活動を停止しなければならなくなり、引率の先生方やクラブチームの関係者の皆様に競技会運営をお手伝いいただいています。皆様方のお力添えが今般の大会運営を支えてくださっていることに心から感謝しています。まだまだこのような運営が続くと考えていますので、ご協力をよろしく願います。以前のような競技会が早く戻ってくることを、切に願っています。

日頃の審判員の皆様のご苦勞に報いるため、昨年度末において西三陸協として、審判出席日数の多い審判員に対して、報奨としてのポロシャツを初めて配付しました。袖の部分には西三陸協のロゴを入れさせていただきました。予算が許すようであれば、今後も続けていきたいと考えています。

今年度は、中学校の今後の部活動の在り方に対し、陸協としてどう関わるべきかを検討していかなければなりません。また競技役員減少の問題についてなど、今まで経験することのなかった多くの問題について対策を迫られることが予想されます。確実な競技場確保やコロナ後の大会運営等々について早めの対応を心がけ、安定した大会運営に取り組んでまいりたいと思っています。

最後になりましたが、年度当初の大会時に、審判員の清

東三河陸上競技協会

コロナ禍は先が読めず、四苦八苦ししながら3シーズン目がスタートしました。その対応策は、少しずつ定着しており、今後は観客問題やプログラム編成等で県や他地区の取り組みを参考に新しい形式を工夫していきたいと思います。

○組織

新役員は、令和4年1月9日の役員・理事会において決定されました。

顧問	牧田 功	
会長	鈴木 政男	
副会長	伊藤 朝一・伊藤 博之・手嶋 修次 井上 兼久	
理事長	兵藤 重二	
副理事長	仲井 雅弘	
理事	一般・高校・小中・地区・女性の各理事を選出	
会計	山本 陽子	
監事	原 公彦・白井 忠彦	
秘書	中西 征裕・山本 誠司・山本 陽子 西村 光剛	
専門委員長	総務	山本 誠司
	競技	横地 勝
	審判	鈴木 俊也
	記録	鈴木 信弘
	施設	中村 昭広
	強化	佐々木敏也

○現況

コロナ対策は、これまでの取り組みを生かし、より慎重に継続し大会を運営しています。また、一部の大会では、会場に来られない関係者のために、ライブ配信を実施しております。

施設面では、昨年度完了予定であった、豊橋市の競技場トラックラインの塗替え工事が8月に延期されたことや、シーズン当初、写真判定関係でケーブルのトラブルが多発しましたので、メーカーと相談し対応策を考えていきます。

備品関係では、ルール改正や運営の効率化のため、以下の物品を購入しました。

- ①「踏切板粘土成型器具」(ルール改正)
- ②「ソーラー式蓄電池」(電源確保)
- ③「トランシーバーの買い替え」(老朽化)
- ④「タブレット購入」(情報処理効率化)
- ⑤「小学生大会用パソコン」(受付用)

競技面では、すでに多くの競技会が開催され「大会新記録」も報告されています。今後の活躍を期待したいと思います。

○今後の目標・課題

- ・より良い協会運営となるよう「各種改善・要望」については、各専門委員長を中心に1年を通し検討し、次年度に生かしていきたいと思ひます。
- ・コロナ対策は、これまでの経験を活かし「より安全・安心な大会運営」を目指して実施したいと思ひます。
- ・強化の面では、合同練習(合宿)や合同記録会を計画的に実施し「選手」「指導者」の育成をしたいと思ひます。
- ・審判員の確保として、競技経験者が、審判員や指導者として戻って来てくれることを期待しています。また、審判資格取得者への補助金支給は継続したいと思ひます。

最後に、「東三河」からより高いステージで活躍する選手が誕生することを期待して大会運営を行なっていきたいと思ひます。

(鈴木 政男)

関係団体報告

小学生友の会

6月25日(土)にパロマ瑞穂北陸上競技場で“日清食品カップ”愛知県小学生陸上競技交流大会が行なわれました。大会当日は、朝から太陽が照りつける暑い中、約850人の小学生が熱戦を繰り広げました。年々コンバインド種目の記録が向上しており、今年度も男子コンバインドAでは1位山根拓士君(大須AC)が大会新記録、男子コンバインドBでは1位阿野射己君(トライルAC)が県小学生新記録・大会新記録、2位岩淵総一郎君(AC一宮Kids)も大会新記録という素晴らしい結果となりました。コロナのため昨年度はリレー種目が全国大会では行なわれませんでした。今年度は豊川ACが愛知県代表で出場します。全国大会は8月20日(土)に日産スタジアム(神奈川)で行なわれます。愛知県選手団の応援をよろしくお願ひします。同日、三重県で東海小学生陸上競技選手権大会が行なわれます。各種目2位~6位の選手5名とリレー5チームが出場します。合わせて応援をお願ひします。



コンバインドA
大会新の山根拓士君(大須AC)



コンバインドB県新記録の
阿野射己君(トライルAC)

【全国大会参加者一覧】

男子

種目	氏名	記録	学年	所属
6年100m	鈴木 快旺	12.93 (-1.7)	6	知立ジュニア
5年100m	二村 奏颯	13.24 (-1.7)	5	あつみクラブ
コンバインドA	山根 拓士	2325点 大会新記録 12.61(-2.0)1m39	6	大須 AC
コンバインドB	阿野 射己	2405点 県小学生新記録 大会新記録 5m13(+0.4)55m85	6	トライル アスリート クラブ

女子

種目	氏名	記録	学年	所属
6年100m	武井 陽南	13.55 (-1.7)	6	なごや陸上クラブ
5年100m	田村 優芽	14.14 (-1.9)	5	なごや陸上クラブ
コンバインドA	浜本 恵瑠	2156点 13.39(-0.8)1m36	6	TSM
コンバインドB	安藤 心美	1911点 4m30(+1.5)43m03	6	刈谷アスリート クラブ

混合リレー

種目	氏名	記録	学年	所属
共通 4×100mR	鈴木 陽仁 中島 貫汰 堂前 絢仁 伊藤 桜良 宮道 菜々美 新谷 紗彩	52.33	6	豊川 AC



共通4×100mR決勝

[写真提供: フォトクリエイト]

(八代香津子)

中小体連

6月10日(金)愛知県教育会館において、今年度、第1回の中小体連陸上競技部会を開催いたしました。活動方針、主催大会の運営、愛知陸上競技協会より絶大な支援を頂いている強化委員会ジュニア部の事業計画等を議題として協議しました。この紙面上において、活動方針、組織を紹介させていただきます。

○活動方針「陸上競技の振興に努力する」

1. 主催【総体・駅伝】、共催大会【通信】の成功
2. 長期的視野に立った競技力向上体制の確立

○組織

部長	鈴木 秀樹(御剣小校長)
副部長(委員長)	秋山真一郎(大高中)
総務部長 (財務担当)	今枝 厚樹(港南中) 三尾麻由美(守山中)
総務部委員	釜下 隼亮(日進西中) 日下部雄哉(丹陽中) 加藤 健太(岡崎北中) 佐野 亮(豊川東部中)
競技運営部長	谷口 直土(守山西中)
競技運営部委員	競技: 日高 徹(東浦北部中) 下里 功大(富士中) 駅伝: 澤田 卓也(朝日丘中) 加藤 健太(岡崎北中) 審判: 釜下 隼亮(日進西中) 佐野 亮(豊川東部中) 加藤 健太(岡崎北中) 山内 紀行(古知野中) 情報: 谷口 直土(守山西中) 今枝 厚樹(港南中) 西村 文宏(椋山女学園中) 岡田 淳史(青陵中)
強化部長	谷口 直土(守山西中)
強化部委員 (U16 リレー担当)	男子: 秋山真一郎(大高中) 女子: 仲田 優也(振甫中) (県中小体連強化部=愛知陸協ジュニア部)

中学生における陸上競技の普及と育成のために日々ご尽力いただいている先生方、愛知陸上競技協会の先生方とともに「選手ファースト」の観点に立って邁進していきたいと考えています。競技会運営や指導についてお気づきのことやお困りのことがございましたら、所属の地区運動部員まで声をお聞かせください。先生方の思いやお考えを中小体連の活動に少しでも反映できればと考えております。

最後となりますが、中小体連は各学校のご協力のもと、主催大会を開催できております。今後とも、「チーム愛知」が一丸となり躍進していきたいと思っております。

(秋山 真一郎)

高体連

令和4年度全国高校総体(徳島大会)に向けて

本年度全国高校総体は、徳島県鳴門市の大塚スポーツパークポカリスエットスタジアムで、8月2日から8月6日の日程で開催されます。全国への道のりは今年度も、県内大会については新型コロナウイルス感染症対策のため、競技場内への観客を入れない措置の中、4月下旬の愛知県下6支部の予選会から始まりました。マルヤス岡崎龍北スタジアムでの県大会を経て、6月16日から3日間、岐阜市の長良川競技場で開催された東海高校総体にて代表選手が決定しました。東海大会は感染予防対策を実施し、有観客にて開催されました。ここ数年愛知県は、150名程度が全国大会に出場していましたが、本年度は男女合わせて132名が全国大会への出場権を獲得しました。

東海大会での全般的な印象は、昨年度中止になりましたが、国体強化の三重県は女子投擲種目での活躍が目立ち、また、静岡県の子は短距離の強化が進んでいるように感じました。岐阜県はここ数年入賞者数が減少し続けています。愛知県はしばらく男低女高の傾向が見られましたが、本年度は男子の活躍が目立ちました。

個人種目の結果では、愛知県勢の優勝数は、男子が9種目で昨年と同数、女子が12種目でした。女子は昨年度7種目ですので、優勝数はかなり増加しました。リレー種目では2種目合わせて女子が4チーム(昨年は6チーム)、男子が8チーム(昨年は7チーム)の入賞でした。

学校別では男女とも中京大中京高校の活躍が大いに光りました。男女ともに昨年に引き続き、圧倒的な総合優勝に輝きました。

表のように延入賞数は男子51、女子50、合わせて101になりました。ここ数年の中ではかなり少ない数になりました。特に女子の減少が目につきました。全国総体参加者数は男子78名、女子54名になりました。ここ数年女子の参加者数が男子より多かったのですが、本年度は男子が頑張ってくれました。女子の減少は、昨年に続きリレー種目の結果が反映してしまったと思われる。過去最多は152名です。

また、本年度の全国大会不出場種目は男子の5000mW、八種競技、女子棒高跳の3種目でした。いずれも愛知県は得意種目でありましたが、本年は残念な結果になってしまいました。愛知県をあげて頑張っていかななくてはならないと感じました。今後に向けて、各学校の選手の頑張りや顧問の先生方のご指導を期待します。

全国総体に向けては、男女100mや800m、女子100mHや七種競技、リレー種目を始め、全国大会でも上位入賞が期待できる種目がたくさんあります。今年も多くインターハイチャンピオンの誕生を期待したいと思っております。

最後になりましたが、高体連としてもできることを、各学校と連携しながら頑張る実践し、今後も努力を続けていきたいと思っております。

東海総体入賞者数県別比較 ()内は令和3年度

県名	男子	女子	合計	リレー
愛知	51 (50)	50 (65)	101(115)	12 (13)
静岡	39 (33)	35 (28)	74 (61)	9 (6)
岐阜	13 (17)	9 (9)	22 (26)	2 (1)
三重	23 (25)	26 (19)	49 (44)	1 (4)
総数	21種目 126	20種目 120	41種目 246	4種目 24

※全国出場権は6位入賞まで。ただし混成競技は3位までと全国上位5名。競歩は4位まで。女子の棒高跳・三段跳び・ハンマー投は4位まで。

(石井 哲郎)

高体連定通部

県定通総体、全国大会に向けて

まず、はじめにコロナ禍において無事県大会が開催できましたのも各校顧問の先生方の尽力、審判員の先生方の協力の賜物だと実感しております。とくに審判については定通陸上競技OBである松橋政人先生をはじめとする陸協関係の方々にご協力を頂くとともに、前委員長の野村先生、過去に定通の陸上競技部顧問や役員をされて

いた多くの先生方にご協力を頂きました。本当に色々な方々に支えられ、成り立っている大会だと強く感じるとともに、定通生徒に対する先生方の温かい思いを感じることができました。今後ともご指導ご鞭撻、ご協力のほどよろしくお願ひします。

さて、県定通陸上競技大会では科技高刈谷が男女ともに7連覇を達成し、安定した力を発揮しました。7月31日から行なわれる全国大会（東京・駒沢オリンピック公園陸上競技場）へは男女総合優勝の科技高刈谷をはじめ、市立豊橋、クラーク国際、刈谷東、城北つばき、熱田、一宮起工科、名古屋工科、飛鳥未来、津島、一宮から11校41名が出場いたします。

多くの方々の想いを力に変えて、チーム愛知として団結し、個々が力を発揮できるよう、スタッフも一丸となってサポートしていきたいと思ひます。また全国大会に向けた強化では愛知高体連陸上競技専門部石井先生、知多支部の小野田先生、旧委員長の野口先生に多大なるご協力を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

定通陸上の記録は一見すると低調かもしれませんが、個々が様々な事情や困難を抱える中で競技に打ち込み研鑽を積む姿はとても輝いています。愛知の定通陸上競技は全国屈指の実力です！ご注目ください！

このようなご時世ではありますが、県大会、全国大会と定通生徒が活躍できる場が与えられること、多くの方々に応援していただけることに感謝の気持ちを忘れず、全国大会では優勝旗と賜杯を愛知に持ち帰ることができるよう、力を発揮していきたいと思ひます。

ホープさん ⑤①

蔵重 みう 選手 (中京大中京高校3年)

蔵重選手の出身中学校は山口大学教育学部附属光中学校です。山口県の選手を勧誘して愛知に来たと思われているようですが、彼女はれっきとした名古屋生まれで、父親の転勤により山口で暮らしていました。そして高校進学を機に名古屋に帰ってきた選手です。

令和3年度より蔵重選手はJOCオリンピック強化指定選手に認定され、トップアスリートとしての研修を受けています。



U18 100m 優勝：愛媛県総合運動公園にて

また、2026年開催のアジア大会強化選手として期待されています。蔵重選手は2年連続高校リレー日本一の称号を得ていましたが、2021年U18日本選手権100mで初の個人全国タイトルを取ることができました。技術的には浮き気味であった1、2歩目の一次加速が修正でき、二次加速でのストライドの伸長が図れたことで最大スピードと慣性力が高まりました。その結果11秒57まで記録を短縮することができました。また、200mにも対応できるスプリンターとなり、昨年のインターハイにおいて第3位入賞を果たしています。また滑らかな重心移動により、安定した動きができるため、好不調の差が少ないことも特長です。冷静な判断力と行動を律するトップ選手に必要な精神的資質を持ち、それが蔵重選手の走りに繋がっていると云えます。2021年シーズンよりグランプリレース、日本選手権に積極的に参戦することでトップ選手と対峙できるスプリント力と精神力を身につけました。

愛知のホープさんとしてご紹介させていただきましたが、大学に進学する2023年4月から再び県外に転出する予定です。高校2年生の弟、蔵重 颯君も県立高校陸上部に所属する「ホープさん」です。そのため、引き続き愛知で競技を続ける弟の颯君が「ホープさん」としてこの稿に登場することを祈念しています。

(北村 肇)



男女7連覇の科技高刈谷 (原田 賢一)

学連

2022年シーズン上半期、学生陸上競技界の総括

2022年は、開催が1年延期された学生の世界大会、World University Games 2021（旧ユニバーシアード、以下WUG）の選考大会からシーズンとなった。例年、6月に開催される日本学生個人選手権であるが、今シーズンに限ってはWUGの開催時期にあわせて選考競技会として位置づけられ、4月（4/15～4/17）開催となった。また、2022年3月に卒業した選手にも選考資格を設けたため、いつも見慣れた大学のウェアに実業団や個人のウェアを着た選手と一緒に代表権を競う競技会となった。シーズン初めということもあり、選手のコンディションが心配されていたが、始まってみれば大会タイ記録および大会新記録が多く誕生し、代表選考会として相応しいレベルとなった。そして、東海地区の選手からは3名の現役学生アスリートが代表選手として選出（表1）された。しかしながら、代表選手内定発表から数日後、開催地（中国・成都）の感染症対策および社会的な観点から開催再延期が通知され、2023年まで延期が決定した。

東海インカレ（岐阜メモリアル 5/27～5/29）は、昨年、チーム内に陽性者が出たため大会直前に不参加を決めた中京大学が復帰した。また、自粛期間を経て競技会再開以降、東海学連主催の競技会は無観客開催としてきたが、久しぶりに有観客開催にしたこともあり、スタンドの景色も過去2年間と比べると賑やかな東海インカレとなった。対校結果は、男女揃って中京大が圧倒的な強さで優勝した。今大会の新記録は、中京大が女子4×100mRで更新した大会新記録1つのみで記録的には低調になったが、大会最優秀選手として選出された田中友梨選手（至学館3 七種競技 5374点）と本田基偉選手（岐阜大3 男子走高跳 2m20）の記録は、どちらも2021年日本学生ランキング2位相当の記録であり、夏以降の躍進が期待できる。

春季シーズン終盤となる第106回日本選手権（長居）では、学生記録保持者の伊藤 陸選手（近大高専）が三段跳で優勝、名城大の柳樂あずみ選手が1500mで4位（U20の3000mでは2位）、石松愛朱加選手がU20の3000mで4位にそれぞれ入賞した。

まだまだトラック&フィールドのシーズンだが、長距離種目は駅伝シーズンにシフトしはじめている。11月の全日本大学駅伝に向けた東海地区選考会が6月18日に岡崎で開催され、優勝は6年連続6回目の出場資格を獲得した

皇學館大学、2位には愛知工業大学が3年ぶり19回目の伊勢路へのチケットを獲得した。

7月1日（金）からは、2020年大会から2年続けて開催が中止されてきた西日本インカレが愛媛にて開催された。現役学生で西日本インカレを経験しているのは、現4年生以上だけということもあり、久しぶりに西日本レベルの競技会が再開されたことに感謝したい。

表1:ワールドユニバーシティゲームズ(2021/ 成都)代表選手・スタッフ

選手 / コーチ名	種目・役職	日本学生個人選手権
伊藤 陸(近大高専)	男子走幅跳	男子走幅跳 優勝
山本 有真(名城大学)	女子5000m	女子5000m 優勝
小林 成美(名城大学)	女子10000m	女子10000m 優勝
米田 勝朗(名城大学)	中長距離・コーチ	

(黒須 雅弘)

実業団

2022年7月 田中選手・山西選手・西山選手らが世界選手権に出場

今年度は7月にアメリカ（オレゴン）にて世界選手権が開催されます。6月の日本選手権で1次代表選手が発表され、田中希実選手（豊田自動織機）が800mと1500m、5000mの代表に選出されました。田中選手は、東京オリンピック1500mで日本人初の4分切りをしており、世界選手権でも記録更新に期待がかかります。競歩では前回の世界選手権チャンピオンの山西利和選手（愛知製鋼）が、前回覇者として2連覇を目指します。山西選手は、順調に仕上がってきており、2連覇に期待が持てます。

また、すでに男子マラソンでは西山雄介選手（トヨタ自動車）が別府大分マラソンにて、2時間7分47秒で優勝し、選出されています。



山本選手



山口選手



川端選手

また7月1日に、記録等で選出された選手として、棒高跳の山本聖途選手（トヨタ自動車）は、5m70の記録で世界選手権連続5回目の出場をして日本記録を目指します。さらに、3000m障害の山口浩勢選手（愛三工業）は世界選手権初出場ながら、今年の東京オリンピックにて叶わなかった決勝進出を目指します。また、東京オリンピックに出場した川端魁人選手（中京大クラブ）は、400mとマイルリレー代表に選出されています。

皆さんの温かい声援をお願いします。

(中村 博之)

マスタース陸上

今年度の愛知マスターズの各大会が順調に開催されておりますこと、関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて、今年度は感染対策に注意を払いながら4月24日に第84回、5月14日に第85回の記録会を予定どおり開催することができました。

また、6月19日には第31回愛知マスターズ選手権大会を開催し、東海地区を中心に関東、近畿、四国、遠くは福岡県からもご参加を頂きました。県選手権としては過去最多の386名の参加となり、参加種目数は800を超え、日本新記録が4、愛知県新記録が31と大変盛り上がった大会となりました。

思えば、昨年は、全日本マスターズ福井大会の中止をはじめ全国の各大会も中止となり、第30回愛知大会も直前で開催を断念しました。競技参加を楽しみにしておられた選手の皆さんの思いが一気に爆発した大会となりました。

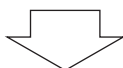
本大会で日本新記録を出された選手を紹介します。

重量投	M40	高岡 秀光	42	富山県	14.55
100m	W45	酒井あおい	47	名古屋市	12.67
200m	W45	酒井あおい	47	名古屋市	26.41
立五段	W70	大日向暁子	72	長野県	11.14

第31回大会と5年前の第26回大会の年齢別参加種目数の比較【2017/26回大会】

<年齢クラス>	<参加種目数>	<構成比>
-24～39	76	12.8%
40～59	307	51.9%
60～	209	35.3%

合計 592



【2022/31回大会】

<年齢クラス>	<参加種目数>	<構成比>
-24～39	154	18.5%↑
40～59	403	48.5%
60～	274	33.0%

合計 831

M・W合計で35クラスまでの若い層の参加（構成比）が大きく増えています。これは、高校・大学時代に陸上競技を経験していた方々に、卒業後に気軽に参加できる競技会として「マスタース陸上」が浸透してきているからではないかと思えます。

また、全体の参加者数も大きく増加していることについては、オリンピックメダリスト朝原宣治さんをはじめ第一線で活躍された選手がマスタース陸上に参加され、現在の年齢に応じて走ることで、生涯スポーツとしてのマスタース陸上が更に注目されていることも大きいと思えます。今後も愛知マスタース陸上競技連盟としても会員を増やす活動に努めてまいります。

最後に、6月9日～12日にヤンマースタジアム長居で行なわれた第106回日本陸上選手権大会 マスタース枠へ

愛知県から女性4名が100m走に参加しましたので、選手と結果を紹介します。

W60	石川 順子さん	15.59
W60	碓井由紀子さん	15.41
W60	林 啓海さん	15.13 SB
W65	長尾 典子さん	16.48 SB

(SB：シーズンベスト)



左から 石川さん、林さん、碓井さん、長尾さん
(兵藤 隆昭)

OB・OG会

コロナ禍で2年間にわたって行事縮小と延期をしてまいりましたOB・OG会ですが、今年は感染予防対策を十分とりながら事業を再開してまいります。

そのスタートとして、令和4年度定時総会を7月17日名古屋ガーデンパレスで開催します。この広報誌発行と開催日が同時期になるものと思いますので、総会の内容は次号でご報告します。

(水野 久)

競技会報告

第105回日本陸上競技選手権大会・
2022日本室内陸上競技大阪大会
2022年3月12日(土)・3月13日(日) 大阪城ホール

男子 (本県3位入賞のみ)

種別	種目	順位	氏名	所属	記録
選手権	60m	3	伊藤 弘大	至学館大	6.80
	棒高跳	1	山本 聖途	トヨタ自動車	5.60
U20	60m	2	河田 航典	立教大	6.78
U18	60mH (0.991m/9.14m)	2	横山 将也	中京大中京高	8.05

女子 (本県3位入賞のみ) (GR：大会新)

種別	種目	順位	氏名	所属	記録
選手権	60mH (0.838m/8.50m)	3	安藤 愛未	至学館大	8.47
U18	60m	3	佐藤 俐有	田原東部中	7.58

U18	60mH (0.762m/8.50m)	1	林 美希	中京大中京高	8.27 GR
U18	走幅跳	3	松村 琴都	瑞陵高	5.74 GR

国民体育大会選手選考春季選抜競技会
2022年4月16日(土)・4月17日(日)パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (1位のみ)

	種目	氏名	所属	記録
成年	100m	山田 佑輔	小島プレス	10.33
	300m	跡見 俊明	愛教大ク名古屋	35.54
	110mH(1.067m/9.14m)	小黑 真弥	中京大クラブ	14.88
	3000mSC(0.914m)	竹内啓一郎	愛知陸協	9.17.15
	10000mW	寺島 智春	豊田自動織機	44.23.24
	走幅跳	南 晋太郎	愛知陸協	7.65
	三段跳	加藤 隼輝	中京大学	14.39
	やり投(800g)	坂本 達哉	T-LABO	68.42
少年A	100m	小島 拓真	名古屋大谷高	10.52
	300m	鳥居 大隼	安城学園高	34.54
	5000m	樋口 諒	一宮高	15.45.90
	300mH(0.914m/35.00m)	富山 詞央	豊川高	38.40
	棒高跳	林本 匠平	中京大中京高	4.60
	走幅跳	立野 秀	西尾高	7.09
	ハンマー投(6.000kg)	神戸 良介	三好高	53.89
	やり投(800g)	眞名子智仁	昭和高	54.59
少年B	100m	巻口 周平	田原中	11.00
	3000m	高田 遙生	中京大中京高	9.20.94
	110mH(0.991m/9.14m)	西垣 俐玖	中京大中京高	14.95
	走幅跳	中村 光希	名城大附高	6.25
	円盤投(1.500kg)	濱嶋 健太	名古屋高	36.60
少年共通	800m	杉本 仁	中京大中京高	1.53.06
	5000mW	大西 敬吾	知多翔洋高	22.52.09
中学	走高跳	岡松 大那	愛工大名電高	2.03
	走高跳	伊藤 望亜	宮田中	1.70
	走幅跳	長谷部 寛	大府北中	5.42
	砲丸投(5.000kg)	小橋 琉生	御幸山中	11.14

女子 (1位のみ)

	種目	氏名	所属	記録
成年	100m	永野真莉子	デンソー	11.78
	300m	安藤 朱里	愛知教育大	45.21
	400mH(0.762m/35.00m)	遠山 奈月	至学館大	1.05.66
	5000mW	足立 真唯	明和高	23.32.02
	走高跳	百合草美優	名古屋大	1.65
	棒高跳	篠崎 稔里	至学館大	3.60
	やり投(600g)	榑原 梨子	至学館大	45.03
少年A	100m	小松このみ	安城学園高	11.76
	300m	中野 知咲	中京大中京高	40.06
	800m	森 千莉	豊田大谷高	2.09.01
	3000m	中馬 蘭奈	豊田大谷高	9.37.83
	100mH(0.838m/8.50m)	林 美希	中京大中京高	13.86
	300mH(0.762m/35.00m)	夏目 紗彩	豊川高	43.97
	砲丸投(4.000kg)	山田 真央	安城学園高	12.00
少年B	やり投(600g)	堤 陽菜	名古屋大谷高	47.50
	100m	佐藤 俐有	至学館高	12.21
	100mH(0.762m/8.50m)	大和 令奈	岡崎城西高	14.99
少年共通	円盤投(1.000kg)	岩田明樺梨	至学館高	29.50
	走高跳	矢野 夏希	時習館高	1.65
	走幅跳	石川 凜	安城学園高	5.66
中学	三段跳	石川 凜	安城学園高	11.46
	100mH(0.762m/8.00m)	小椋 千智	古知野中	16.33
	走高跳	鍵谷 優羽	桜田中	1.50
	走幅跳	奥山 莉奈	東山中	4.82
	砲丸投(2.721kg)	片岡 真緒	桜田中	10.61

豊橋長距離競技会
2022年4月16日(土)豊橋市宮陸上競技場

(本県1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
中学・高校男子3000m	藤井敬史郎	愛知高	9.03.96
中学・高校女子1500m	甲斐 琴乃	岡崎城西高	4.43.78
中・高・一般女子3000m	山下美智乃	安城学園高	9.59.71

第1回春日井スプリント in AICHI
2022年5月14日(土)スポーレ春日井陸上競技場

(SG:スプリントゲーム種目 1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
一般高校SG男子100m	伊藤 弘大	至学館大	10.52

一般高校SG女子100m	大城 珠莉	至学館大	12.00
中学SG男子100m	内藤 翔真	YRC	11.20
中学SG女子100m	今井美莉亜	AC一宮 Junior	12.64

第66回中部実業団対抗陸上競技大会

2022年5月14日(土)・5月15日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (本県1位入賞のみ) (FR:外国人参考記録)

種目	氏名	所属	記録
1500m	木村 理来	愛三工業	3.50.14
5000m	フィレモン キブラガット	愛三工業	13.29.10
10000m	ロジャースチュモ ケモイ	愛三工業	27.25.17 FR
110mH (1.067m)	高野 克哉	トヨタ自動車	14.35
3000mSC (0.914m)	フィレモン キブラガット	愛三工業	8.22.79 FR
10000mW	山西 利和	愛知製鋼	39.18.57
4×100m	三ッ石達也 高野克哉 新城健斗 渡邊圭一郎	トヨタ自動車	40.61
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙	小林クリエイト	67.64
やり投 (0.800kg)	坂本 達哉	修文大学教	72.36

女子 (本県1位入賞のみ) (FR:外国人参考記録 NGR:大会新)

種目	氏名	所属	記録
800m	藤田 あい	豊田自動織機	2.14.78
1500m (1位)	ヘレン エカラレ	豊田自動織機	4.09.76 FR
1500m (2位)	田中 希実	豊田自動織機	4.11.27 NGR
3000m	鹿内 弥生	愛知電機	9.56.45
5000m	川口 桃佳	豊田自動織機	15.44.95
100mH (0.840m)	大松 由季	エリアワン	13.62
3000mSC (0.762m)	向井 智香	鈴波	11.36.06
4×100m	猪岡真帆 新木詩乃 糟谷友里 加藤早紀	小島プレス	49.33
4×400m	加藤早紀 猪岡真帆 糟谷友里 新木詩乃	小島プレス	4.10.14
走高跳	榊原至佳子	ブロードリーフ	1.65
棒高跳	所 杏子	ラフィネ	3.90
三段跳	浅野紗弥香	東郷町施設サービス	12.77
砲丸投 (4.000kg)	徳岡 沙織	一北高教	12.01
円盤投 (1.000kg)	徳岡 沙織	一北高教	40.64

第76回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会

2022年5月20日(金)~22日(日) マルヤス岡崎龍北スタジアム

男子 (3位入賞のみ) (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	小島 拓真 10.52 GR 名古屋大谷	田邊 隼門 10.63 中京大中京	谷藤 海友 10.64 豊川
200m	田邊 隼門 21.84 中京大中京	谷藤 海友 22.05 豊川	亀山 祥吾 22.13 中京大中京
400m	小島 颯太 47.70 岡崎城西	清田虎太郎 48.41 豊橋南	榊原 聡真 48.73 豊川
800m	杉本 仁 1.53.93 中京大中京	山田 直希 1.54.32 中京大中京	東 純大 1.54.50 阿久比
1500m	藪田虎志朗 3.54.97 豊川	橋本憲一郎 3.56.06 愛知	高畑 蓮 3.56.36 岡崎城西
5000m	河野 温喜 14.58.20 名経大高蔵	松井 寛翔 15.01.97 豊田大谷	平松 享祐 15.03.81 中部大第一
110mH (1.067m)	横山 将也 14.56 中京大中京	大谷 高史 14.77 豊橋南	青山 紘大 14.97 岡崎城西
400mH (0.914m)	富山 詞央 52.94 豊川	駒井 苺瑛 53.99 中京大中京	朝倉 拓己 54.08 豊橋東
3000mSC	大岩 準 9.18.71 愛知	小鹿 祐渡 9.22.33 津島東	鈴木優太郎 9.23.08 愛知
5000mW	大西 敬吾 23.42.04 知多翔洋	前原 凌 24.01.41 愛産大三河	名塩 創 24.14.88 松蔭
4×100mR	豊川 40.92 高柳 友貴 羽田野太智 寺下 頼檜 谷藤 海友	中京大中京 41.26 向井 悠汰 高橋 大地 田邊 隼門 亀山 祥吾	安城学園 41.37 万前 瑞葵 生田 幸長 戸田 源大 鳥居 大隼
4×400mR	豊川 3.12.86 GR 橋本 結友 下田 隼人 富山 詞央 榊原 聡真	中京大中京 3.14.25 阿部 泰典 竹森 斗沙 永田 敦也 杉本 仁	豊橋南 3.16.03 鈴木 凰介 田中 瑛一 藤田 藍介 清田虎太郎
走高跳	岡松 大那 1.98 愛工大名電	加古 彩人 1.98 中京大中京	柴田 昂樹 1.95 岡崎城西
棒高跳	林本 匠平 4.71 中京大中京	谷口 海斗 4.50 中京大中京	野木森郁哉 4.40 犬山
走幅跳	田中 瑛一 7.12 豊橋南	羽田 桂吾 7.05 岡崎城西	山坂 隼也 7.01 愛工大名電
三段跳	横井 大智 14.60 一宮	難波 亮太 14.26 向陽	山坂 隼也 14.22 愛工大名電
砲丸投 (6.000kg)	兵藤 拓郎 15.05 名古屋大谷	柳 勇次 13.55 誠信	尾崎 涼 13.14 三好
円盤投 (1.750kg)	根本 睦千 40.47 名古屋西	兵藤 拓郎 40.21 名古屋大谷	柳 勇次 39.78 誠信
ハンマー投 (6.000kg)	神戸 良介 57.45 三好	井上 智史 53.91 旭野	大畑 皓誠 49.43 一宮起工科
やり投 (800g)	上野 倅一 55.31 星城	眞名子智仁 54.77 昭和	水野百吉地 51.25 一宮興道
8種競技	高橋 郁実 5002 旭野	加藤 颯真 4951 岡崎城西	西川 綜介 4705 刈谷
総合	中京大中京 78	豊川 42.5	岡崎城西 38
トラック	中京大中京 57	豊川 42	愛知 22
フィールド	中京大中京 19	三好 16	名古屋大谷 15

女子 (3位入賞のみ) (TR:東海大会新 PR:県高校新 GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	藏重 みう 11.78 GR 中京大中京	小松このみ 11.82 GR 安城学園	前田 紗希 11.98 中京大中京
200m	藏重 みう 24.71 中京大中京	前田 紗希 24.75 中京大中京	森下 愛梨 25.15 岡崎城西
400m	平野 里歩 55.76 中京大中京	中野 知咲 57.18 中京大中京	中澤 愛菜 57.22 中京大中京
800m	平野 里歩 2.09.98 中京大中京	林 彩夢 2.10.83 岡崎城西	北村 はる 2.11.24 福祉大付
1500m	林 彩夢 4.28.53 岡崎城西	森 彩純 4.30.27 豊川	林 愛望 4.30.43 岡崎城西
3000m	吉田 莉帆 9.35.84 豊川	森 彩純 9.38.62 豊川	山下美智乃 9.38.70 安城学園
100mH (0.838m)	林 美希 13.46 TR,PR,GR 中京大中京	高木 茜里 13.89 中京大中京	坂口 由花 14.07 名城大附
400mH (0.762m)	夏目 紗彩 1.00.21 GR 豊川	和佐田真広 1.00.68 中京大中京	中島 明香 1.01.43 中京大中京
5000mW	足立 真唯 25.44.86 明和	後藤 美咲 26.19.09 豊明	安達 みく 26.29.23 至学館
4×100mR	中京大中京 46.65 片山 心菜 秋月 涼子 前田 紗希 藏重 みう	岡崎城西 47.49 藤井 鈴奈 森下 愛梨 杉浦 千恵 吉本 結羅	至学館 47.88 高橋 沙季 加藤 涼音 坂井 寿々 佐藤 俐有
4×400mR	中京大中京 3.49.74 中澤 愛菜 中島 明香 森 那帆 平野 里歩	至学館 3.54.22 鈴木 咲葉 坂井 寿々 金森 比那 加藤 涼音	岡崎城西 3.54.48 小島 奈々 林 彩夢 羽賀 柚月 森下 愛梨
走高跳	村松 優 1.64 安城学園	矢野 夏希 1.61 時習館	鈴木 菜美 1.61 岡崎北
棒高跳	横井 綾 3.20 岡崎城西	武山ひかり 3.10 岡崎城西	岡部 陽奈 3.10 岡崎
走幅跳	松村 琴都 5.80 瑞陵	田島七里香 5.53 至学館	石川 凜 5.47 安城学園
三段跳	石川 凜 11.78 安城学園	渡辺実優花 11.62 名城大附	村松 優 11.25 安城学園
砲丸投 (4.000kg)	山田 真央 12.74 安城学園	伊藤 圭菜 12.55 至学館	小原 恵 12.43 名古屋大谷
円盤投 (1.000kg)	伊藤 圭菜 39.02 至学館	別所りなみ 33.53 三好	井並 萌彩 31.82 西陵
ハンマー投 (4.000kg)	小原 恵 48.17 名古屋大谷	加藤 愛結 44.81 桜丘	小島日依梨 43.40 名古屋大谷
やり投 (600g)	堤 陽菜 51.47 GR 名古屋大谷	永井愛香里 42.83 岡崎城西	小野 真裕 42.14 時習館
7種競技	林 美希 4978 中京大中京	田島七里香 4581 至学館	太田 結愛 4499 中京大中京
総合	中京大中京 101	岡崎城西 52	安城学園 48
トラック	中京大中京 79	岡崎城西 35	豊川 22
フィールド	安城学園 31	名古屋大谷 24	至学館 19

第88回東海学生陸上競技対校選手権大会
2022年5月27日(金)~5月29日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (本県1位入賞のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	本郷 汰樹	名古屋大	10.39
200m	本郷 汰樹	名古屋大	21.11
400m	永野 響	中京大	47.88
1500m	鈴木 雄登	中京大	3.52.61
400mH (0.914/35m)	土居 駿斗	愛知教育大	52.56
4×100mR	伊藤 弘大 松井 修平 藤井 有哉 伊藤 有哉	至学館大	40.34
4×400mR	石毛 大輝 川上 凜太 山野 裕斗 永野 響	中京大	3.13.94
棒高跳	松嶋 愛太	中京大	4.90
十種競技	梅田 朔也	中京大	6688

女子 (本県1位入賞のみ) (NGR:大会新)

種目	氏名	所属	記録
100m	大城 珠莉	至学館大	11.82
200m	大城 珠莉	至学館大	24.53
400m	生田奈緒子	中京大	56.75
100mH (0.838/8.5m)	安藤 愛未	至学館大	13.75
10000mW	上森 佳代	中京大	49.22.11
4×100mR	外園 愛梨 須崎 心優 明星 光 蟹江璃彩子	中京大	45.97 NGR
4×400mR	後藤 里奈 大城 珠莉 奥林 凜 近藤 七海	至学館大	3.46.70
走高跳	梶山奈津子	愛知淑徳大	1.60
棒高跳	篠崎 稔里	至学館大	3.70
走幅跳	高橋 好波	中京大	5.80
三段跳	木村 莉子	愛知教育大	12.40
やり投 (0.600kg)	石垣 綾香	中京大	54.25
七種競技	田中 友梨	至学館大	5374

第106回日本陸上競技選手権大会・混成競技

2022年6月4日(土)・6月5日(日) 秋田県営陸上競技場

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	記録	氏名	所属
七種競技	5	5405	田中 友梨	至学館大

第73回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会

2022年6月5日(日) 物産フードサイエンス1969知多スタジアム

男子 (1位のみ) (NGR:大会新)

種目	氏名	所属	記録
100m	判家 悠也	豊橋昼	11.51
200m	判家 悠也	豊橋昼	22.83 NGR
400m	今尾 宰人	科技刈谷	52.92
800m	田村 珀英	科技刈谷	1:59.85 NGR
1500m	田村 珀英	科技刈谷	4:30.87
5000m	濱口 靖人	科技刈谷	18:20.59
400mH (0.914m)	金子 凌空	科技刈谷	1:03.54
3000mSC	石井 晃永	科技刈谷	11:39.31
4×100mR	金子 凌空 井上 貴翔 國枝 南斗 今尾 宰人	科技刈谷	46.09
4×400mR	岡 忍 田村 珀英 石井 晃永 今尾 宰人	科技刈谷	3:52.46
走高跳	参加者無し	岡崎工科	1.70
走幅跳	荒谷 綜太	クラーク	5.71
三段跳	廣瀬 源	豊橋昼	11.48
砲丸投 (6.000kg)	吉田 将隆	熱田	10.93
円盤投 (1.750kg)	吉田 将隆	熱田	27.74
男子総合	科技刈谷		109点

女子 (1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
100m	細野 乙芽	城北つばさ	13.93
200m	泉 知里	科技刈谷	29.19
400m	泉 知里	科技刈谷	1:07.96
800m	田口 貴子	科技刈谷	2:45.60
3000m	石黒 志歩	科技刈谷	13:04.62
100mH (0.838m)	今泉 花音	刈谷東昼	19.64
4×100mR	杉下 凜 田口 貴子 鈴木 萌生 泉 知里	科技刈谷	57.56
走高跳	長岡 せな	豊橋昼	1.20
走幅跳	鈴木 萌生	科技刈谷	4.57
砲丸投 (4.000kg)	呉屋邪悉明	豊橋昼	7.60
円盤投 (1.000kg)	長岡 せな	豊橋昼	23.07
女子総合	科技刈谷		60点

第106回日本陸上競技選手権大会

2022年6月9日(木)~12日(日) 大阪・ヤンマースタジアム長居

男子 (本県8位入賞のみ) (PB:パーソナルベスト)

種目	順位	氏名	所属	記録
400m	2	川端 魁人	中京大クラブ	46.00
1500m	5	河村 一輝	トーエネック	3:44.10
	8	近藤 亨	明治大	3:45.83
3000mSC (0.914m)	3	山口 浩勢	愛三工業	8:23.29
	7	西方 大珠	愛三工業	8:35.58 PB
円盤投 (2.000kg)	2	湯上 剛輝	トヨタ自動車	59.43
ハンマー投 (7.260kg)	5	墨 訓熙	小林クリエイト	69.17
やり投 (800g)	8	坂本 達哉	T-LABO	74.88

女子 (本県8位入賞のみ)

種目	順位	氏名	所属	記録
800m	2	田中 希実	豊田自動織機	2:04.51
1500m	1	田中 希実	豊田自動織機	4:11.83
	2	後藤 夢	豊田自動織機	4:15.65
5000m	1	田中 希実	豊田自動織機	15:05.61
	7	川口 桃佳	豊田自動織機	15:25.34
走高跳	7	齋藤みゆに	中京大	1.70
棒高跳	6	所 杏子	ラフィネ	4.00
三段跳	8	浅野紗弥香	東海学園 TC	12.72
やり投 (600g)	7	石垣 綾香	中京大	54.02

第38回U20日本陸上競技選手権大会

2022年6月9日(木)~12日(日) 大阪・ヤンマースタジアム長居

男子 (本県8位入賞のみ) (PB:パーソナルベスト)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	2	館野 峻輝	東洋大	10.48
	6	小島 拓真	名古屋大谷高	10.57
200m	1	館野 峻輝	東洋大	20.98
400m	5	小島 颯太	岡崎城西高	47.29
800m	5	杉本 仁	中京大中京高	1:51.61
	6	山田 直希	中京大中京高	1:52.19
110mH (0.991m/9.14m)	7	田原 佳悟	立命館大	13.87 PB
400mH (0.914m/35.00m)	3	小川 大輝	東洋大	50.72
棒高跳	2	水谷 翼	福岡大	5.30 PB
ハンマー投 (6.000kg)	4	小島 諒大	中京大	65.21 PB
やり投 (800g)	8	横井 太翔	中京大	61.48

女子 (本県8位入賞のみ) (PB: パーソナルベスト)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	小松このみ	安城学園高	11.78
200m	2	小松このみ	安城学園高	24.50
	6	倉橋 美穂	青山学院大	24.82
400m	2	平野 里歩	中京大中京高	54.95 PB
	3	森 千莉	豊田大谷高	55.49
800m	5	森 千莉	豊田大谷高	2.12.97
1500m	2	吉田 莉帆	豊川高	4.22.21 PB
	3	藤田 あい	豊田自動織機	4.23.16
5000m	7	磯部 早良	豊田自動織機	16.23.94
100mH (0.838m/8.50m)	1	林 美希	中京大中京高	13.46
	2	高木 茜里	中京大中京高	13.81 PB
400mH (0.762m/35.00m)	3	夏目 紗彩	豊川高	1.00.28
	6	和佐田真広	中京大中京高	1.01.34
走幅跳	2	松村 琴都	瑞陵高	6.06 PB
やり投 (600g)	1	辻 萌々子	九州共立大	57.17
	5	堤 陽菜	名古屋大谷高	48.37

4 × 100m	1	向井 悠汰 高橋 大地 田邊 隼門 亀山 祥吾	中京大中京	40.30
	2	高柳 友貴 羽野 太智 寺下 頼 谷藤 海友	豊川	40.76
		4	万前 瑞葵 生田 幸長 戸田 源大 鳥居 大隼	安城学園
	5	谷口 瑠昊 石川 智基 丹羽 皓星 松本 康太郎	愛工大名電	40.85
	6	田實 陽翔 岩田 航輝 高倉 昂生 小島 颯太	岡崎城西	40.86
	4 × 400m	1	橋本 結友 寺下 頼 富山 詞央 柳原 聡真	豊川
2		岡副 周平 杉本 仁 永田 敦也 竹森 斗渉	中京大中京	3.12.92
5		鈴木 鳳介 田中 瑛一 藤田 藍介 清田 虎太郎	豊橋南	3.15.78
走高跳	2	岡松 大那	愛工大名電	2.04
	4	江川 征那	西春	1.98
		加古 彩人	中京大中京	1.98
棒高跳	4	谷口 海斗	中京大中京	4.50
	6	林本 匠平	中京大中京	4.50
走幅跳	1	森部 諒	名城大附	7.47
	4	田中 瑛一	豊橋南	7.34
三段跳	2	難波 亮太	向陽	14.80
	5	横井 大智	一宮	14.46
砲丸投 (6.000kg)	6	兵藤 拓郎	名古屋大谷	14.50
円盤投 (1.750kg)	3	神戸 良介	三好	43.28
ハンマー投 (6.000kg)	1	神戸 良介	三好	59.27
	2	井上 智史	旭野	54.99
	3	河本 雅崇	名古屋大谷	54.16
	4	皆川 朋輝	三好	53.04
やり投 (0.800kg)	3	上野 倅一	星城	57.65
	6	眞名子智仁	昭和	55.58
総合得点	1位: 中京大中京			43.5点
	2位: 豊川			35点
トラック得点	1位: 中京大中京			37点
	2位: 豊川			35点
フィールド得点	1位: 三好			13点
	6位: 中京大中京			6.5点

第69回東海高等学校総合体育大会

2022年6月17日(金)~19日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (本県6位入賞のみ) (NGR: 大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	小島 拓真	名古屋大谷	10.48
	2	田邊 隼門	中京大中京	10.67
	4	生田 幸長	安城学園	10.73
	5	谷藤 海友	豊川	10.76
	3	亀山 祥吾	中京大中京	21.56
200m	6	田邊 隼門	中京大中京	21.65
	4	榑原 聡真	豊川	47.98
400m	5	小島 颯太	岡崎城西	48.02
	1	杉本 仁	中京大中京	1.53.00
800m	3	山田 直希	中京大中京	1.53.49
	4	盛 耕太郎	岡崎城西	1.53.76
	6	樋口 諒	一宮	1.54.24
	1	野川 元希	愛知	4.03.39
1500m	2	藪田虎志朗	豊川	4.03.69
	6	山田 直希	中京大中京	4.05.27
	2	大内伶央斗	名経大高蔵	14.44.43
5000m	3	河野 温喜	名経大高蔵	14.44.93
	4	松井 寛翔	豊田大谷	14.45.10
	5	平松 享祐	中部大第一	14.45.96
	2	横山 将也	中京大中京	14.55
110mH(1.067m)	2	横山 将也	中京大中京	14.55
400mH(0.914m)	1	下田 隼人	豊川	51.40
	2	富山 詞央	豊川	53.03
	5	朝倉 拓己	豊橋東	53.92
3000mSC(914mm)	4	夏目 拓	豊川	9.08.53
	5	大岩 準	愛知	9.10.01
5000mW	6	大西 敬吾	知多翔洋	23.23.82

女子 (本県6位入賞のみ) (NGR: 大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	藏重 みう	中京大中京	11.80
	4	小松このみ	安城学園	11.96
	6	前田 紗希	中京大中京	12.03

200m	1	藏重 みう	中京大中京	24.22
	4	小松このみ	安城学園	24.30
	5	森下 愛梨	岡崎城西	24.52
400m	1	平野 里歩	中京大中京	55.28
800m	1	森 千莉	豊田大谷	2:08.40 NGR
	2	平野 里歩	中京大中京	2:08.69
	4	林 彩夢	岡崎城西	2:09.96
1500m	5	林 彩夢	岡崎城西	4:29.35
	6	林 愛望	岡崎城西	4:29.69
3000m	2	吉田 莉帆	豊川	9:24.56
	3	杉浦 未蘭	人環大岡崎	9:42.03
	4	前田 彩花	愛知	9:43.14
	6	梅村 茉那	旭野	9:44.25
100mH (0.840m)	1	林 美希	中京大中京	13.78
	3	片山 心菜	中京大中京	14.09
	4	高木 茜里	中京大中京	14.17
	5	坂口 由花	名城大附	14.28
400mH (0.762m)	1	和佐田真広	中京大中京	59.84
	2	夏目 紗彩	豊川	1:00.03
	5	森田 琉水	光ヶ丘女子	1:01.20
	6	中島 明香	中京大中京	1:01.22
5000mW	1	足立 真唯	明和	24:57.80
	2	安達 みく	至学館	25:08.03
	3	後藤 美咲	豊明	25:11.05
4 × 100m	1	片山 心菜 秋月 涼子 前田 紗希 藏重 みう	中京大中京	45.67 NGR
	6	鈴木 咲葉 佐藤 俐有 加藤 涼音 鈴木 虹葉	至学館	46.89
4 × 400m	1	中澤 愛菜 和佐田真広 中野 知咲 平野 里歩	中京大中京	3:43.02
	6	羽賀 柚月 小島 奈々 神戸 ひなた 森下 愛梨	岡崎城西	3:50.26
走高跳	1	矢野 夏希	時習館	1.68
	2	村松 優	安城学園	1.67
棒高跳	6	武山ひかり	岡崎城西	3.20
		横井 綾	岡崎城西	
走幅跳	2	松村 琴都	瑞陵	5.92
	4	石川 凜	安城学園	5.68
	5	田島七里香	至学館	5.59
三段跳	3	石川 凜	安城学園	11.83
砲丸投 (4.000kg)	2	小原 恵	名古屋大谷	12.95
	3	山田 真央	安城学園	12.86
円盤投 (1.000kg)	1	伊藤 圭菜	至学館	40.57
	2	別所りなみ	三好	37.84
ハンマー投 (4.000kg)	2	小原 恵	名古屋大谷	46.75
	5	小島日依梨	名古屋大谷	43.67

やり投 (0.600kg)	2	堤 陽菜	名古屋大谷	48.56
	5	永井愛香里	岡崎城西	44.61
	6	中田 瑠乃	中京大中京	43.32
七種競技	1	林 美希	中京大中京	5053
	3	太田 結愛	中京大中京	4596
	4	大坂 雪乃	明和	4118
総合得点	1位：中京大中京			67点
	5位：安城学園			21.5点
トラック得点	1位：中京大中京			56点
	6位：豊川			10点
フィールド 得点	2位：名古屋大谷			17点
	4位：安城学園			15.5点
混成得点	1位：中京大中京			10点
	3位：明和			3点

“目清食品カップ”愛知県小学生陸上競技交流大会
2022年6月25日(土)パロマ瑞穂公園北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (ER：県小学生新 GR：大会新)

種目	1位	2位	3位
5年 100m	二村 奏颯 13.24 GR あつみクラブ	平岩 陸斗 13.51 安城 JAC	堂前 絢仁 13.60 豊川 AC
6年 100m	鈴木 快旺 12.93 知立ジュニア	林 塚汰 13.14 FKN	竹内 奏太 13.14 豊橋陸上
4年 80mH	渡邊 椋太 14.75 TSM	杉山 航太 15.41 TSM 岡崎	春口 丈治 16.38 成岩 SC 陸上
4年 走高跳	江口 隼矢 1.05 JAC 武豊	岡田 碧人 1.00 成岩 SC 陸上	間瀬 真翔 3.52 YOUKI 陸上
		後藤 琉維 1.00 大須 AC	
4年 走幅跳	木下大偉哉 3.64 田原陸上	鈴木 陽斗 3.59 豊橋陸上	佐々木康太 32.86 なごや陸上
4年 ジャベール投	社本航太郎 39.32 AC一宮Kids	野田龍之介 34.01 大須 AC	白石 楓翔 7.89 豊川 AC
4年 50m	外山 幾也 7.82 豊橋陸上	宇佐美 隼 7.85 AC一宮Kids	大澤 拓己 2185 SET PROJECT
コンバインド A	山根 拓士 2325 GR 大須 AC	高橋 叶真 2238 成岩 SC 陸上	両角 公位 2027 OBU エニスポ
コンバインド B	阿野 射己 2405 ER+GR トライルAC	岩淵聡一郎 2200 GR AC一宮Kids	

女子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
5年 100m	田村 優芽 14.14 なごや陸上	山本 依那 14.43 田原陸上	齋藤 唯花 14.62 美浜 A C
6年 100m	武井 陽南 13.55 なごや陸上	加藤 光桜 13.90 豊橋陸上	山下乃々葉 13.92 トライル AC
4年 80mH	加藤いろは 16.98 いっしき陸上	横澤 優莉 17.05 成岩 SC 陸上	熊澤 明香 17.27 大須 A C
4年 走高跳	岩瀬 愛菜 1.10 西尾 AC Jr	鈴木 玲愛 1.05 TSM 岡崎	畑 恵美 3.26 OBU エニスポ
		夏目 梨帆 1.05 豊橋陸上	
4年 走幅跳	加藤 希呼 3.63 へきなん陸上	小林 聖奈 3.27 刈谷 AC	金田 小町 20.46 G・ナイン
4年 ジャベール投	山本 葵子 33.04 藤が丘 BC	間瀬 希花 22.48 TSM 岡崎	本田 稟菜 8.25 TSM
4年 50m	クアク秋桜 ミュリエル 7.97 大須 AC	松葉 姫奈 8.11 Brushupjr	

コンバインド A	浜本 恵瑠 2156 TSM	岡 菜月 2128 TSM	小西さくら 2074 TSM
コンバインド B	安藤 心美 1911 刈谷 AC	清田 雅妃 1840 JAC あつみ	新屋 美貴 1789 大須 AC

混合 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
混合 4×100mR	豊川 ACA 52.33 伊藤 桜良 中島 貫汰 宮道菜々美 鈴木 陽仁	TSM 52.77 小西さくら 上出 舞華 野村壮太郎 古川 煌良	なごや陸上 A 52.78 近藤 立梧 武井 陽南 鈴木 瑞彩 酒井 啓地
4年混合 4×100mR	JAC 武豊 1.01.61 井澤 萌菜 氏原 芹夏 加藤 陽向 西尾 天良	たかはま陸上 1.01.79 佐藤 莉紗 山下 櫻 山中 類翔 橋本 弘	蒲郡クラブ 1.03.02 黒野 早彩 長谷 莉好 蜂谷 旺大 鈴江 迅
5年混合 4×100mR	布袋陸上クラブ A 59.67 齋藤 灯 高須 清太 芦田 莉子 大川 遼真	キムランニング A 1.01.61 後藤 璃央 生田 颯紀 萩野 ゆら 田中 湊人	蒲郡クラブ 1.02.28 今枝 七実 服部 紗菜 小田 晃大 杉浦 寿卓

1000m	宇野莉里杏 3.00.52 愛知陸協	大畑夢依里 3.02.73 朝日中	前川 紡 3.03.46 田原中
100mH (0.762m)	岡本 彩里 14.84 旭中	蛭川 真奈 15.14 成岩中	村田 愛奈 15.46 TSM
4×100mR	安城西中 50.11 水谷 悠那 佐野 日香 田中 咲有 山本 遥	東山中 50.57 奥山 莉菜 時任 陽菜 伏木 杏莉 西郷 花音	御幸山中 51.01 石原 花恋 安保 芹菜 熊谷 柚希 木下 和奏
走高跳	鏡味 あい 1.51 知立中	磯 くるみ 1.48 城北中	岡本 結衣 1.45 豊川東部中
棒高跳	禰宜田美奈 2.72 平坂中	恩田 朱果 2.40 守山西中	仙田 雪乃 2.40 前津中
走幅跳	赤川 恭音 5.01 ハイテック AC	加藤 蒼乃 4.98 愛知陸協	山岸 未来 4.97 桜井中
三段跳	中村 朱琳 10.20 安城学園高	近藤 愛 10.00 甲山中	野村 美和 8.98 前津中
砲丸投 (2.721kg)	木下みなみ 12.40 安城学園高	片桐 舞 10.61 大高中	船水 琴未 10.12 長久手北中
四種競技	井坂 優里 2784 ◎ 長久手南中	平塚 玲音 2553 岡崎東海中	間瀬 奏波 2416 幸田南部中

2022 愛知陸上選手権大会長距離競技会・リレー競技大会・混成競技大会・国体少年選考競技会
2022年7月2日(土)・3日(日) パロマ瑞穂北陸上競技場

東海・愛知県混成競技会

男子十種競技・女子七種競技は悪天候(雷・大雨等)のため競技は2日目の途中で中止

第25回愛知県中学校選抜混成競技大会
2022年6月26日(日) パロマ瑞穂北陸上競技場

男子 (3位入賞のみ) (◎: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
100m	巻口 周平 11.23 田原中	北野 佳貴 11.42 長久手中	中島 悠太 11.44 TSM
145m	神谷 流星 16.08 TSM	小野 真大 16.25 東山中	藤井 志道 16.44 安城 JY
1000m	坂田 剛 2.36.98 平坂中	菅野絢之介 2.39.84 大府北中	渡邊 兼巨 2.42.25 猪高中
110mH (0.914m)	藤田 唯央 15.25 福岡中	山口 竜世 15.36 西尾一色中	中島 昂大 15.94 高藏寺中
4×100mR	東山中 43.52 東 和 小野 真大 服部 仁弥 杉山 惇人	田原中 44.01 松井 天佑 片桐 兜真 原田 悠暉 巻口 周平	大須 AC 44.44 西尾 泰 成田 俐士 高橋 宗汰 坪井 桂
走高跳	伊藤 望亜 1.76 宮田中	岡松 晴芽 1.73 古知野中	品谷 颯希 1.70 猪高中
棒高跳	谷口 海斗 4.50 中京大中京高	久世 優壱 3.60 大須 AC	沼野 靖生 3.40 古知野中
走幅跳	森川 陽介 6.58 安城南中	山田 悠世 6.42 御幸山中	足立 拓都 6.16 矢作中
三段跳	三輪嵐威煌 10.43 平坂中		
砲丸投 (5.000kg)	佐藤 美波 12.75 大口中	山口 暁士 12.57 大高中	石坂 巧真 11.25 宮田中
四種競技	坂井 大一 2571 ◎ 甚目寺中	高島 悠生 2117 水無瀬中	萩野 斗駿 2115 竜南中

女子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
100m	米津 海理 12.79 安城 JY	高崎 生愛 12.84 稲沢 ACJ	山本 遥 12.96 安城西中
145m	布施 一葉 18.46 高豊中	今瀬 日菜 18.48 守山中	佐野 日香 18.68 安城西中

愛知選手権リレー・長距離 男子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
5000m	小山 裕太 トーエネック 14.21.44	河合 拓巳 トーエネック 14.31.27	高畑 祐樹 トーエネック 14.54.65
3000mSC (0.914m)	木村 将成 愛知教育大学 9.07.29	大岩 準 愛知高 9.16.57	渡邊 大誠 愛知工大 9.28.00
4×100mR	小島プレス 40.36 野村 勇輝 若杉 俊佑 服部 辰也 山田 佑輔	名古屋大 40.51 西川原友輝 本郷 汰樹 鳥居 青矢 山本 悠生	トヨタ自動車 40.65 千田 勇司 高野 克哉 新城 健斗 渡邊圭一郎

4×400mRは天候不良のため7月17日(日)に実施(女子も)

愛知選手権リレー・長距離 女子 (3位入賞のみ)

種目	1位	2位	3位
5000m	火山 華 安城学園高 18.00.22	太田 美晴 安城学園高 18.05.48	山口 紋奈 光ヶ丘女子高 18.10.65
3000mSC (0.762m)	服部 七子 同志社大 11.01.17	谷口 晴菜 岡崎城西高 11.15.11	後藤 梨奈 城西 AC 11.53.62
4×100mR	中京大中京高 46.26 秋月 涼子 林 美希 前田 紗希 藏重 みう	安城学園高 47.30 酒井 菜胡 小松このみ 濱島 月香 青山 和奏	至学館高 48.02 高橋 沙季 佐藤 俐有 鈴木 咲葉 鈴木 虹葉

国体少年選手選考競技会

(1位のみ)

	種目	氏名	所属	記録
A男子	300m	小島 颯太	岡崎城西高	33.82
	300mH	富山 詞央	豊川高	36.95
B男子	100m	浅井 央真	瑞陵高	11.38
	3000m	田中 智稀	名経大学高蔵高	8.46.76
	走幅跳	久野 聡	岡崎城西高	6.40
	円盤投	濱嶋 健太	名古屋高	38.01
A女子	300m	藏重 みう	中京大中京高	39.51
	300mH	和佐田真広	中京大中京高	42.71
B女子	100m	佐藤 俐有	至学館高	12.57
	100m YH	大和 令奈	岡崎城西高	14.92
	円盤投	岩田明樺梨	至学館高	32.84

栄章

おめでとうございます

令和3年度日本陸上競技連盟の栄章が次の方々には授与されました。心よりお祝い申し上げます。

(秩父宮章) 日本陸連・加盟団体への功労
 永田 敏也(愛知陸上競技協会監事)
 北村 肇(愛知陸上競技協会財務委員長)
 (高校優秀指導者章) 高校生指導者として功労
 山本 雅司(名古屋大谷高等学校)
 (中学優秀指導者章) 中学生指導者として功労
 佐橋 弘晃(扇台中学校)
 (高校優秀選手章)
 西 徹朗(名古屋高校)
 (中学優秀選手章)
 谷口 海斗(猿投台中学校)

また、令和4年度愛知陸上競技協会会長表彰として次の9名が表彰されました。

(尾張) 佐藤 武夫
 (名古屋) 進藤 實 竹内 基文 大野 昭晃
 北村 肇 藤河 伸晴 佐藤 丈能
 (西三河) 夏目 恒男 小野尾一乗



愛知選手権での会長表彰等のようす

さらに、特別に愛知陸上競技協会表彰が次の2名にされました。

米田 勝朗(名城大学女子駅伝部監督)
 北村 肇(中京大中京高等学校監督)

(水野 隆夫)

編集後記

◇コロナ対応の先が見えないが、少しずつ日常を取り戻したい。◇アジア大会への諸準備と、変化する競技者数や部活動対応等が求められる。◇競技力向上や大会運営に着実な日常を歩みたい。◇世界選手権での愛知ゆかりの選手の活躍を祈念する。◇それぞれご多忙中、寄稿に感謝。

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直
 茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二
 山下ゆかり

理事会等会議報告

○3月理事会 令和4年3月25日(金)

1. 協議事項

- 第1号議案 令和4年度収支予算書について
 第2号議案 令和4年度事業計画について
 第3号議案 令和4年度年間競技日程について

2. 報告事項

- ①各専門委員会報告
 ②各陸協からの報告
 ③各協力団体からの報告

○6月理事会 令和4年6月15日(水)

1. 協議事項

- 第1号議案 令和3年度一般概要及び事業報告について
 第2号議案 令和3年度収支決算報告について 監査報告
 第3号議案 役員辞任にともなう選定について
 第4号議案 令和4年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について
 第5号議案 第82回愛知陸上競技選手権賞寄贈者について

2. 報告事項

- ①第65回東海陸上競技選手権大会について
 ②各専門委員会からの報告
 ③各地区陸協から
 ④各協力団体から

○定時評議員会 令和4年6月29日(水)

1. 協議事項

- 第1号議案 令和3年度一般概要・事業報告および、決算報告について 監査報告
 第2号議案 役員辞任にともなう選定について

2. 報告事項

- ①令和4年度愛知陸協会長表彰・愛知陸協表彰候補者推薦について
 ②第82回愛知陸上競技選手権賞寄贈の依頼について
 ③第65回東海陸上競技選手権大会について

(水野 隆夫)